

ことわざ・慣用句シリーズ

ここでは毎月、覚えておきたいことわざと慣用句を取り上げます。みなさんはどのくらい知っていますか？

慣用句

『心をくばる』

意味:いろいろと気を使うという意味。

ひとこと:類義語として『心をくだく』がある。

使い方:お年寄りには細かく心を配ってね。

『ことばをにごす』

意味:その場のがれのあいまいな言い方をするという意味。

ひとこと:“濁る”という言葉から来た。

使い方:宿題を忘れた理由を聞かれて言葉をにごした。

ことわざ

『紺屋(こうや)の白ばかま』

意味:他人のことをするのに忙しく、自分のことをする暇がないこと。

ひとこと:染物屋なのに、染めない白い袴(はかま)をはいているという意味から。

使い方:父は学校の先生だが、紺屋のしろばかまで、自分の子供の勉強は見てくれない。

『転ばぬ先の杖』

意味:失敗しないように前もって用心することが大切だという意味。

ひとこと:類義語として『後悔先に立たず』『念には念をいれよ』がある。

使い方:今日は雲が多いから、転ばぬ先の杖でかさを持っていこう。